



# 製品アップグレードガイド



# FileMaker 各バージョンの発売時期と追加された主な新機能

主な機能	年	FileMaker プラットフォーム	iOS	mac	Windows
<b>FileMaker 8. 8. 5</b> Web ビューア FileMaker リソース PDF Maker Excel Maker Fast Send Fast Match テーブルのインポート タブコントロール ドロップダウンカレンダー オートコンプリート 視覚的なスペルチェッカー レイアウト整理ツール オブジェクトの名前付け	2006	FileMaker 8. 8. 5		Mac OS X 10. 4	Windows XP
<b>FileMaker 9</b> 外部 SQL データソースとの接続 条件付き書式 メール送信 スクリプトのグループ化 リンク送信データベース共有機能 自動サイズ変更 PDF に追加	2007	FileMaker 9	OS X iPhone 1	Mac OS X 10. 5	Windows Vista
<b>FileMaker 10</b> ステータスツールバー スクリプトトリガ ダイナミックレポート機能 検索条件の保存 SMTP 経由のメール送信 フィールドを名前を設定するスクリプトステップ 挿入時のタブ順設定 IPv6 のサポート ポップアップヘルプ	2008	FileMaker 10	OS X iPhone 2	Mac OS X 10. 6	Windows 7
<b>FileMaker 11</b> FileMaker グラフ クイックレポート 定期的なインポート スナップショットリンク クイック検索 インスペクタ レイアウトフォルダ ポータルフィルタリング 外部ファイルの保護 検索条件とマージフィールドに変数の使用 FileMaker Go 11 リリース	2009	FileMaker 11	iPhone OS 3	Mac OS X 10. 7 Lion	
<b>FileMaker 12</b> 洗練されたテーマ レイアウト支援ツール 一新されたサンプル App オブジェクトフィールドの強化 クイックグラフ iOS デザイン & 開発ツール ウインドウスタイルの定義 [URL から挿入]スクリプトステップ Execute SQL 関数 ESS との統合強化 インスタント Web 終了 64ビット 対応 FileMaker Go 12 無償化 iPad発売	2010	FileMaker 12	iOS 4	OS X 10. 8 Mountain Lion	Windows 8
<b>FileMaker 13</b> カスタムテーマ スタイル 充実したインスペクタの属性 フィールドピッカー データベースの暗号化 スライドコントロール / ポップオーバー オブジェクトの表示 / 非表示を操作 計算式を用いるタブコントロールのタイトルとダイアログボタンのタイトル FileMaker WebDirect [サーバー上のスクリプト実行] スクリプトステップ iOS 5	2011	FileMaker 13	iOS 6	OS X 10. 9 Mavericks	Windows 8.1
<b>FileMaker 14</b> スクリプトワークスペース 新しい計算式の指定ダイアログボックス アプリケーションアイコン ボタンバー / ボタンアイコン 上部および下部のナビゲーションパート フィールド内のプレースホルダテキスト オブジェクトコンポーネントのスタイル iOS 6	2012	FileMaker 14	iOS 7	OS X 10. 10 Yosemite	Windows 10 (バージョン 1507)
<b>FileMaker 15</b> 製品内でソフトウェア更新 スクリプトを元に戻す スクリプトエラーの強調表示 ESS アダプタ ( PostgreSQL、IBM Db2 ) Web ベースのヘルプ マスク付き編集ボックス ポータルの進行状況バー スクリプトによる指定テーブル内データの一括削除 SSL 証明書サポート ( ワイルドカード、SAN に対応 ) iOS 7	2013	FileMaker 15	iOS 8	OS X 10. 11 El Capitan	Windows 10 November Update (バージョン 1511)
	2014		iOS 9	macOS 10. 12 Sierra	Windows 10 Anniversary Update (バージョン 1607)

主な機能	年	FileMaker プラットフォーム	iOS	mac	Windows
<b>FileMaker 16</b> レイアウトオブジェクトウィンドウ カードウィンドウ Windows 上での新しい FileMaker Pro インターフェース 値一覧のコピーと貼り付け FileMaker データソース参照内の変数 cURL オプションの機能強化 JSON 関数 外部スクリプトステップ クリック可能なセキュリティロックアイコン OAuth 2.0 のサポート フィールドレベルでのテキストの暗号化	2018	FileMaker 16	iOS 11	macOS 10. 13 High Sierra	Windows 10 Creators Update (バージョン 1703)
<b>FileMaker 17</b> マスタ / 詳細レイアウトグループオブジェクトの選択 一新されたレイアウトモード Starter App [マイ App] ウィンドウ デフォルトのフィールド 電子メールへの複数ファイルの添付をサポート FileMaker Data API 正式サポート FileMaker Server Admin Console デザイン変更 FileMaker Pro / Pro Advanced 一本化	2019	FileMaker 17	iOS 12	macOS 10. 14 Mojave	Windows 10 Fall Creators Update (バージョン 1709)
<b>FileMaker 18</b> データインポートのための新しいユーザーインターフェース 起動時に特定のカスタム App を開く ファイルバージョンの比較 ファイルベースのスクリプトステップ スクリプトエラーログ While 関数 / SetRecursion 関数 新しいセキュリティアクセス管理 / [セキュリティの管理] ダイアログボックス プラグインセキュリティの機能強化 デフォルトのファイルアクセス保護 FileMaker Server Admin API サポート iOS 13	2020	FileMaker 18	iOS 13	macOS 10. 15 Catalina	Windows 10 April 2018 Update (バージョン 1803)
<b>FileMaker 19</b> FileMaker Pro に名称変更 JavaScript の統合 FileMaker WebDirect でカードのサポート Claris ID および外部アイデンティティ プロバイダ (IdP) アカウント認証 NFCタグの読み込み 機械学習モデルを構成 Siri ショートカットのサポート macOS ダークモードのサポート macOS ドラッグ操作での FileMaker Pro のインストール CentOS Linux 対応 (FileMaker Server) ランタイム終了 32 ビット 対応終了 Windows 7 対応終了	2021	FileMaker 19	iPadOS 13	macOS 10. 15 Catalina	Windows 10 October 2018 Update (バージョン 1809)
<b>FileMaker 19. 3</b> macOS Apple シリコンをネイティブサポート Windows Web コンテンツの Microsoft Edge サポート Ubuntu 対応 (FileMaker Server) CentOS 対応終了	2021	FileMaker 19. 3	iOS 14 iPadOS 14	macOS Big Sur	Windows 10 May 2019 Update (バージョン 1903)
<b>FileMaker 19. 4</b> macOS Monterey ショートカットによるタスク自動化 (FileMaker Pro) OAuth アイデンティティプロバイダのカスタマイズ iOS 15 および OpenSSL 1. 1. 1i 対応 (FileMaker Go)	2022	FileMaker 19. 4	iOS 14 iPadOS 14	macOS Big Sur	Windows 10 November 2019 Update (バージョン 1909)
<b>FileMaker 19. 5</b> オブジェクトフィールドのイメージから文字認識 QR コードのテキスト読み取り FileMaker WebDirect のパフォーマンス向上 並列バックアップ・バックアップのキャンセル (FileMaker Server) ライセンス証明書ファイルの置き換え Windows 8.1 対応終了	2022	FileMaker 19. 5	iOS 15 iPadOS 15	macOS Monterey	Windows 10 May 2020 Update (バージョン 2004)
<b>FileMaker 19. 6</b> トランザクション スクリプトステップ Apple でサインイン Admin Console に管理者の役割 (FileMaker Server) FileMaker WebDirect パフォーマンス向上	2022	FileMaker 19. 6	iOS 15 iPadOS 15	macOS Monterey	Windows 10 October 2020 Update (バージョン 20H2)
<b>FileMaker 2023</b> [OnWindowTransaction] スクリプトトリガで 操作ログ取得 GetLiveText 関数 日本語対応 ReadQRCode 関数 Windows 対応 [Claris Connect フローをトリガ] スクリプトステップ 画面ステンシル変更 ホストできるファイル数 256 までに拡大 (FileMaker Server) Ubuntu 22. 04 サポート AMD64、ARM64 (FileMaker Server) ログの追加 FMSEScriptError.log、scriptEvent.log (FileMaker Server) FileMaker WebDirect 同時接続 1000 クライアントまでに拡大	2023	FileMaker 2023	iOS 16 iPadOS 16	mac OS Ventura	Windows 10 May 2021 Update (バージョン 21H1)
					Windows 11 (バージョン 21H2)
					Windows 11 (バージョン 22H2)

各バージョンで追加された主な機能について、詳しくはナレッジベースをご覧ください。 <https://www.claris.com/ja/kb>

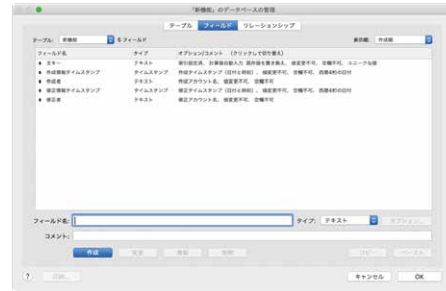
## 新しく追加またはアップデートされた機能

### データインポート用の新しいユーザインターフェース



インポートを行うソースデータを、より簡単に FileMaker フィールドにマッピングできるようになりました。特定のファイルタイプをインポートする際に、カスタム区切り記号も指定できます。

### デフォルトのフィールド



新しいテーブルを作成すると、レコードの作成情報を表示するフィールドが自動的に作成されます。

### Face ID・Touch ID のサポート (FileMaker Go)



顔認証または指紋認証によるロック解除で、カスタム App に安全にアクセスできます。

### スクリプトワークスペース



スクリプトの作成、編集、表示をテキストエディタのような編集画面で作成できます。スクリプトステップは部分一致での検索が可能のため、ステップの名称の一部がわかれば、簡単にスクリプトが入力できます。

### 電子メールへの複数ファイルの添付をサポート



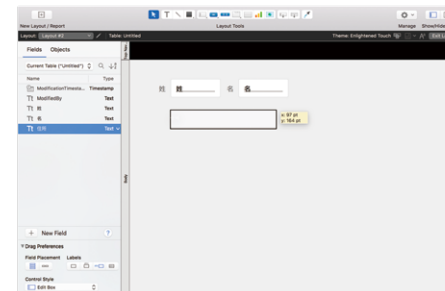
電子メールに複数のファイルを添付でき、より便利になります。

### 署名のキャプチャ (FileMaker Go)



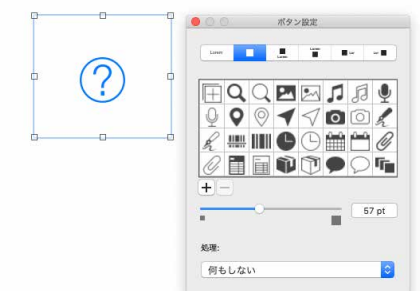
iPad / iPhone 上で、紙のフォームに署名するようにドキュメントに署名してカスタム App に追加することができます。署名画面をオーバーレイ表示にすることもできます。

### フィールドタブ



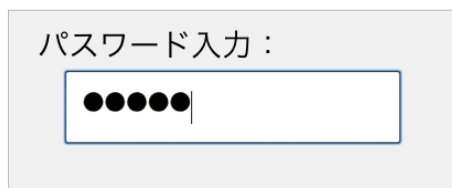
レイアウトモードで直接、新しいフィールドを作成し、ドラッグ & ドロップでフィールドをフォームに配置できます。

### ボタンアイコン



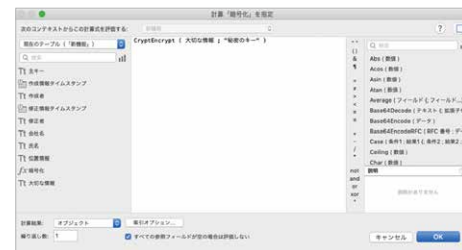
さまざまなタスクを表すボタンに使用できる 140 種類のアイコンが用意されています。カスタムボタンアイコンを使用することもできます。

### マスク付き編集ボックス



パスワードやクレジットカード番号といった機密情報を非表示にして、画面に表示されないようにできます。データは「」記号でマスクされます。

### フィールドデータの暗号化



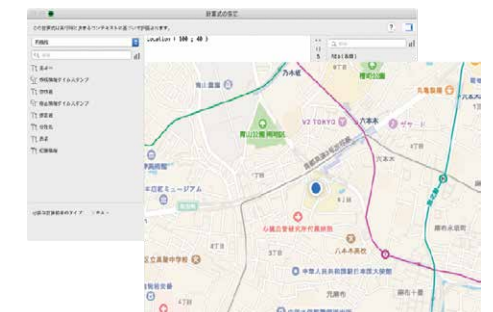
指定したフィールド内のテキストまたはオブジェクトデータを暗号化できます。

### バーコード読み取り (FileMaker Go)



iOS の機能によりバーコードをスキャンしてカスタム App に挿入します。

### 位置情報取得 (FileMaker Go)



スクリプトステップにより iOS デバイスの位置情報を取得することができます。位置情報は、現在地を地図に表示するなどカスタム App 内で様々な用途に利用できます。

## 外部 Web アプリケーションやサービスとの統合

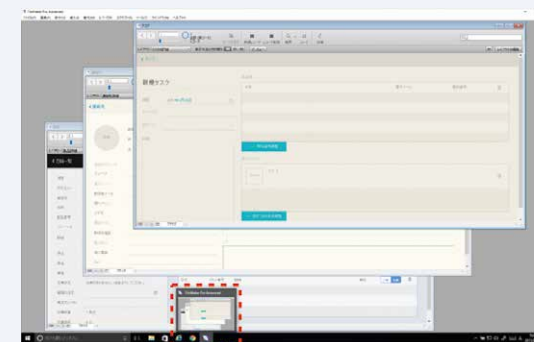
FileMaker では、他のアプリケーションや Web サービスと API で連携するための機能が利用可能です。たとえば、FileMaker からビジネスチャットサービスの API を利用して通知メッセージを送信したり、クラウド型ワークフローツールの API を利用して稟議のデータを送信するなどの連携ができます。同時に、FileMaker にも API が用意されているため (Data API)、外部システムから FileMaker に対してデータ取得や更新などの処理を行うこともできます。

このように、API 連携により既存のサービスやアプリケーションを活用しながらカスタム App の可能性を拡げることが可能となります。

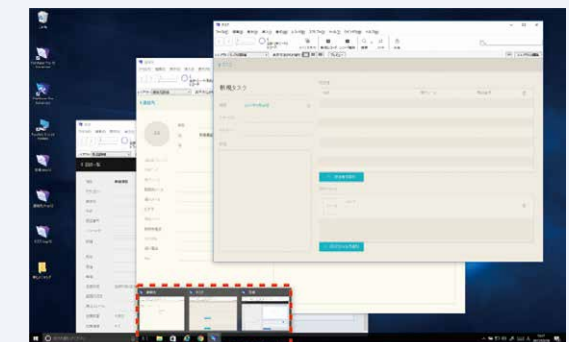
FileMaker Data API ガイド : <https://help.claris.com/ja/data-api-guide/>  
JSON 関数の使い方 : <https://help.claris.com/ja/pro-help/content/json-functions.html>  
cURL オプション : <https://help.claris.com/ja/pro-help/content/curl-options.html>



### Windows のお客様



MDI



SDI

FileMaker 15 以前では、MDI (マルチドキュメントインターフェイス) を採用しており、必ず親ウィンドウがあり、その中でファイルが開かれていました。FileMaker 16 以降では、SDI (シングルドキュメントインターフェイス) の採用により、右側の画面のように表示が大きく変わりました。画面を最大表示して使っているユーザーへの影響は少ないですが、2 画面に分けて二つのカスタム App を表示させる場合など、基準となる座標の位置が変わったことにより影響がある場合があります。



## インスタント Web と FileMaker WebDirect



FileMaker 12 までのインスタント Web



FileMaker WebDirect

FileMaker Server 12 までのインスタント Web 公開に代わり、FileMaker Server 13 で FileMaker WebDirect が登場しました。FileMaker Pro や FileMaker Go と同様に、フィールドの外をクリックすると自動的にデータが保存され、変更された情報もすぐに反映されます。また、他のユーザが同じレコードを編集しようとした場合には排他処理もされるようになりました。

なお、バージョン 17 より URL の方法が変更されているため、すでに FileMaker WebDirect を導入している場合も注意が必要ですが、バージョンが上がるごとにパフォーマンスの向上が図られています。ぜひ最新バージョンをお試しください。

## Web コンテンツに対する Windows Microsoft Edge のサポート (Windows)

FileMaker 19.3 より、Internet Explorer 11 に代わり、Microsoft Edge WebView2 コントロールを使用するようになりました。プラグイン不要でオブジェクトフィールドの PDF の表示が可能で、潜在的なセキュリティの懸念が解消され、FileMaker の拡張性をフルに発揮できるようになります。

## Apple シリコンによる FileMaker プラットフォームのパフォーマンス向上 (macOS)

Apple は、Mac コンピュータの Apple シリコンへの移行を開始し、新世代の Mac コンピュータに Apple M1 チップの搭載を始めました。Apple M1 チップにより、FileMaker Server および FileMaker Pro 19.3.1 以降において、これまでの Intel チップの環境に比べてパフォーマンスが大幅に向上しています。Apple シリコン対応やベンチマークテストについては、下記 Web サイトをご覧ください。

<https://support.claris.com/s/answerview?language=ja&num=000035594>

## 異なるバージョン間での接続互換性

FileMaker プラットフォームの拡張子は、バージョン 12 以降すべて同じ .fmp12 です。バージョン 12 で作成したファイルをそのまま活用できます。ローカルディスク上にあるファイルについては、新しいバージョンのみが備えている機能を除き通常通り使用できます。しかし同じ拡張子 .fmp12 が使用されていても、FileMaker Server を使用してファイルを共有する場合は、ホストとクライアントの互換性を考慮する必要があります。

ホストする製品	FileMaker Pro FileMaker Pro Advanced	FileMaker Pro (ユーザ接続用)	FileMaker Go
FileMaker Server 2023	2023、19.4.2 以上	対象外	2023、19.4.2 以上
FileMaker Server 19	2023 <sup>※1</sup> 、19、18	対象外	2023 <sup>※1</sup> 、19、18
FileMaker Server 18	19、18、17、16	16	19、18、17、16
FileMaker Server 17	18、17、16、15	16、15	18、17、16、15
FileMaker Server 16	18、17、16、15、14v4	16、15	18、17、16、15、14
FileMaker Server 15	17、16、15、14、13v9	16、15	17、16、15、14、13v9
FileMaker Server 14v4	16、15、14、13v9	対象外	16、15、14、13v9
FileMaker Cloud 2023 (近日リリース)	2023、19.4.2 以上	対象外	2023、19.4.2 以上
FileMaker Cloud 2.19	19 <sup>※2</sup> 、18	対象外	19、18

本資料は 2023 年 6 月時点の情報に基づいた接続互換を表記したものであり、全ての機能が完全動作することを保証するものではありません。また、上記の接続条件は将来変更される可能性があります。上記より後に発表されたバージョンでも接続可能な可能性があります。

FileMaker 12 以降の製品では拡張子 .fmp12 が使用されていますが、SSL セキュリティアップデート等により、同じ拡張子でも互換性がなく接続できない可能性があります。

※ 1 FileMaker Pro および Go 2023 から接続するには、FileMaker Server 19.4.2 以上が必要です。

※ 2 Windows 環境の FileMaker Pro から FileMaker Cloud 2.19 に接続するには、FileMaker Pro 19.4.2 以上が必要です。

## アップグレードの際に気を付けること

バージョンアップにより進化を続けていると同時に廃止された機能もあるため、アップグレードする際に注意が必要になる場合があります。下記の例はあくまで一部となりますが、これらの機能を使っている方は特にアップグレードする前にしっかりテストすることをお勧めします。

### アップグレード時にポイントとなる機能

- **ESS (SQL データソースにライブ接続)**  
外部の SQL データベースにライブで接続をおこない FileMaker のテーブルのように扱う機能です。サポートバージョンが細かく決まっているため確認が必要です。
- **プラグイン**  
標準で含まれていない多くの機能を提供しているプラグインは大変便利ですが、現在使用しているプラグインが、アップグレード後の FileMaker のバージョンでもサポートされているか確認する必要があります。場合によってはプラグインが影響してクラッシュしてしまうこともあり得るため、事前の動作確認が重要です。
- **Web ビューアで JavaScript の使用**  
FileMaker の標準機能では表現できないインターフェイスの作成などに利用されますが、FileMaker 19.3 より Microsoft Edge WebView2 の変更は大きな影響を受けます。

### 廃止された機能の一部

- **スタンバイサーバー機能**  
FileMaker Server に標準で搭載されていたスタンバイサーバー機能が、バージョン 17 にて廃止されました。代替手段の一つとして、NEC 社の CLUSTERPRO X があります。詳しくは下記 Web ページの情報をご覧ください。  
<https://support.claris.com/s/answerview?language=ja&num=000030642>
  - **[許可される向きの設定] スクリプトステップ**  
iOS においてデバイスの向きを固定する機能であった「許可される向きの設定」スクリプトステップはバージョン 16 で廃止となり後継機能はありません。こちらは iPad で SplitView という 2 つの画面に分割して表示する機能ができたためその影響となります。
  - **レイアウトテーマの一部**  
廃止されたテーマを使ったレイアウトは、最新バージョンで開いてもそのまま維持されます。
  - **FileMaker Pro ランタイム機能は廃止されました。**
  - **ピアツーピア共有**  
FileMaker Pro のピアツーピア共有はテスト目的でのみ利用可能となりました。カスタム App の共有には FileMaker Server または FileMaker Cloud をご利用ください。
- その他の機能については、下記の Web サイトをご確認ください。  
廃止予定の機能およびオペレーティングシステム : <https://support.claris.com/s/answerview?language=ja&num=000024984>

## FileMaker 製品のインストール

FileMaker 製品をアップグレードするためには、新しい FileMaker 製品をインストールする必要があります。FileMaker Pro、FileMaker Go は同じデバイス上に複数のバージョンを混在させることが可能ですが、fmp: から始まる URL スキームを使って行う動作が何かある場合、必ずしも最後にインストールしたバージョンが開くとは限らないという動作があるためできれば混在はお勧めしません。また、FileMaker Server については 1 つのコンピュータに対して 1 つのバージョンしかインストールできません。設定は既存の FileMaker Server から自動的に移行されます。インストール後にはシステムを再起動する必要があります。

## FileMaker ライセンス証明書について

FileMaker ライセンス証明書は、FileMaker Pro および FileMaker Server のインストールがライセンス契約のとおり構成されていることを証明する暗号化ファイルです。FileMaker Pro 18 Advanced 以降 (ボリュームライセンスの場合) および FileMaker Server 17 以降では、インストール時にライセンス証明書ファイルが必要です (FileMaker 2023 では契約に関わらずライセンス証明書が必須)。契約時にソフトウェアダウンロード (ESD) ページへのリンクが記載された電子メールを受信している場合、ライセンス証明書はその ESD ページで入手できます。有効なライセンス証明書ファイルが無い場合は、評価版としてインストールされます。詳しくは下記 Web ページをご覧ください。

FileMaker インストール ステップ・バイ・ステップ ガイド : <https://support.claris.com/s/answerview?language=ja&num=000035666>

Claris FileMaker Pro インストールガイド : <https://help.claris.com/ja/pro-installation-guide/>

Claris FileMaker Server インストールおよび構成ガイド : <https://help.claris.com/ja/server-installation-configuration-guide/>

ライセンス証明書は、FileMaker 製品がライセンス契約どおり構成されていることを証明するためのものであり、個人情報を収集するものではありません。詳しくは下記の Web サイトをご参照ください。

<https://support.claris.com/s/answerview?language=ja&num=000026065>

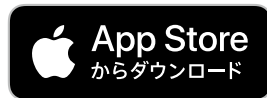


## Claris FileMaker 45 日間 無料評価版

最新の FileMaker Pro および FileMaker Server をお試しください。

<https://www.claris.com/ja/trial/>

FileMaker Go は無料



### 製品ごとのドキュメントを確認する

ドキュメンテーションセンター : <https://www.claris.com/ja/resources/documentation/>



### すべて無料 豊富なオンライン学習リソース

Claris アカデミー : <https://content.claris.com/manabu-index>

FileMaker パフォーマンスガイド : <https://www.claris.com/ja/blog/2021/filemaker-performance-guide>

業種別サンプル App : <https://content.claris.com/jpapps>

Claris FileMaker 10 分でスキルアップ : <https://content.claris.com/jp10min-index>



### コミュニティを活用する

開発や運用のヒントを得るために日本全国の FileMaker 開発者と交流することができます。

製品の機能に対するリクエストや不具合の報告もこちらにお寄せください。

Claris コミュニティ : <https://community.claris.com/jp/s/>



### Claris 認定パートナーを探す

日本全国約 170 社の Claris 公認のエキスパートに、システム導入、開発、トレーニングなどを相談することができます。

Claris パートナー : <https://www.claris.com/ja/partners/>

FileMaker 開発見積依頼 : <https://sales.claris.co.jp/estimate/>

## Claris 法人営業窓口

新規購入 : 0120-983-878 / 03-4345-3333

契約更新 : 0120-983-453

受付時間 : 10:00 - 17:30 (当社指定休日・祝日を除く月曜日から金曜日)

お問い合わせフォーム <https://www.claris.com/ja/asksales/>

## Claris カスタマサポート

無償サポート : 03-4345-3366 / 050-3628-8844

有償サポート : 03-4345-3339 / 050-3627-7001

受付時間 : 10:00 - 17:30 (当社指定休日・祝日を除く月曜日から金曜日)

お問い合わせフォーム <https://www.claris.com/ja/ask/>

© 2023 Claris International Inc. All rights reserved. Claris、クラリス、Claris Connect、Claris ロゴ、FileMaker、ファイルメーカー、FileMaker Cloud、FileMaker Go、FileMaker Pro、FileMaker Server、FileMaker WebDirect およびファイルフォルダのロゴは、米国およびその他の国における Claris International Inc. の登録商標です。Claris Go、Claris Pro、Claris Server、Claris Studio、クラリススタジオ および Claris WebDirect は、Claris International Inc. の商標です。Mac および Mac ロゴは、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。Amazon Web Services、アマゾン ウェブ サービス、および「Powered by AWS」のロゴは、米国および/または他の国における Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。Windows は Microsoft Windows operating system の略称として表記しています。QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。その他すべての第三者の商標は該当する所有者の財産です。製品の仕様、価格、発売時期は、予告なく変更する場合があります。本資料に記載された内容は情報提供のみを目的としております。

### 免責事項

この資料に含まれている内容は、作成日時点において入手可能な情報に基づくものであり、実際の内容および結果と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。また、本資料に含まれている当社および当社グループ以外の企業などに関わる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性について保証するものではありません。本資料内容は 2023 年 6 月現在作成時点の情報です。記載されている会社名、サービス名、用語、記述などは現在と異なる場合があります。